

2018年度「大会(シンポジウム)」開催のお知らせ

シンポテーマ「中国国有企業改革と“一帯一路”の展望」

5月19日 於・拓殖大学文京キャンパス

拝啓 皆様には益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。2018年度の日中関係学会の大会(シンポジウム)を下記内容で開催いたします。

大会(シンポジウム)では、「中国国有企業改革と一帯一路の展望」と題して4人のパネラーから基調報告をいただいた後、パネルディスカッション方式で熱い議論を展開いたしますので、是非とも積極的なご参加をお願い申し上げます。

☆日時：2018年5月19日(土)

☆場所：拓殖大学文京キャンパス C館301教室

電話・03-3947-7111 住所・〒112-0006 東京都文京区小日向3丁目4-14

交通・地下鉄東京メトロ丸の内線「茗荷谷駅」下車徒歩3分(地図は末尾参照)

☆日程及び議題：

14:00~17:00 大会(シンポジウム)【C館301教室】

テーマ 「中国国有企業改革と一帯一路の展望」

司会進行 日中関係学会本部事務局(評議員) 国吉 澄夫 氏

挨拶 日中関係学会会長 宮本 雄二 氏

<パネルディスカッション>コーディネーター：日中関係学会副会長 藤村 幸義 氏

14:10~14:30 第一報告「国有企業改革について」

パネラー：野村資本市場研究所シニアフェロー 関 志雄 氏

14:30~14:50 第二報告「“一帯一路”イニシアチブと中米貿易戦争」

パネラー：北京在住のジャーナリスト 陳 言 氏

14:50~15:10 第三報告「日本企業の中国ビジネスの戦略的な課題—共創による価値の創出」

パネラー：浦上アジア経営研究所代表 浦上 清 氏

15:10~15:30 第四報告「一帯一路の資金手当てとプロジェクト進捗状況」

パネラー：日中関係学会副会長 藤村 幸義 氏

15:30~15:40 休憩

15:40~16:50 討論&会場からの質疑応答

16:50~17:00 閉会挨拶 日中関係学会副会長 江越 眞 氏

17:15~18:30 懇親会【E館9階ラウンジ】

司会進行 日中関係学会評議員 王 玲 氏

## <シンポジウム・テーマの趣旨とパネラー・プロフィール>

テーマ：「中国国有企業改革と一帯一路の展望」

趣旨：中国指導部が目指すのは、国際市場において海外のトップ企業と対等に競争し、打ち勝っている中国企業、とりわけ国有企業の育成である。そのために、国有企業同士の併合や混合企業制などの改革を進めているが、成果は挙がっているのだろうか。大々的に打ち出した「一帯一路」戦略においても、その成否のカギを握っているのは、国有企業である。どのような国有企業が中心となって動いているのか、そしてこれまでの進捗状況はどうなのだろうか。日本は「一帯一路」プロジェクトにどのような形で参画していけばよいのか。

パネラー：



1. 関 志雄 (かん しゅう) : 野村資本市場研究所シニアフェロー  
1979年香港中文大学経済学科卒業、1986年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了、1996年東京大学経済学博士。1986年香港上海銀行入社、本社経済調査部エコノミスト。1987年野村総合研究所入社、経済調査部主任研究員、アジア調査室室長等歴任。2001年独立行政法人経済産業研究所上席研究員を経て、2004年より現職。最近の著書に『チャイナ・アズ・ナンバーワン』（東洋経済新報社、2009年）、『中国「新常态」の経済』（日本経済新聞社、2015年）など。



2. 陳 言 (Chen Yan) : 北京在住のジャーナリスト  
1982年南京大学卒業。1982～1989年、経済日報に勤務。1989～2003年、日本留学。2003～2010年、中国に帰国、月刊『経済』主筆。2010年に日本企業（中国）研究院を設立、執行院長。週刊東洋経済、J-CASTなどの日本メディア、瞭望東方週刊、南風窓などの中国メディアに中日経済を中心に数多く寄稿。



3. 浦上 清 (うらかみ きよし) : 浦上アジア経営研究所代表  
1970年一橋大学法学部卒業、日立製作所入社。日立アメリカ社副社長、日立アジア社副社長兼日立アジア（香港）社社長などを経て、2004年4月から現職。NPO法人アジアITビジネス研究会理事長、一橋大学大学院法学研究科客員教授、静岡県立大学大学院非常勤講師、二松學舎大学大学院非常勤講師などを歴任。中国ビジネス関係の論文に「アジアと企業—社会的課題への取り組み—」（『経営センサー』No.181、2016年4月）、「中国ビジネスの転換—今、何をなすべきか?—」（『経営センサー』No.192、2017年5月）など。



4. コーディネーター 藤村 幸義 (ふじむら たかよし) : 日中関係学会副会長、拓殖大学名誉教授  
1967年慶応義塾大学経済学部卒業、日本経済新聞社入社。北京支局長、アジア部長、論説委員を経て、2001年4月から拓殖大学国際開発学部教授。国際学部長を経て、2014年3月に退社。慶応義塾大学経済学部非常勤講師などを歴任。主な著書に『10億人のテイクオフ』（中央経済社）、『老いはじめた中国』（アスキー新書）、『中国バブル経済のからくり』（勁草書房）など。

☆参加費 大会（シンポジウム）：会員 500 円（学生無料）、非会員 1000 円（学生 500 円）  
懇親会：会員 1500 円（学生 500 円）、非会員 2000 円（学生 1000 円）

☆参加申し込み

非会員の方は下記必要項目（大会・懇親会への出欠、①～③）を明記の上、以下のメールアドレスへメールをお願いします。締め切りは5月12日（土）です。

[takayamayu5@gmail.com](mailto:takayamayu5@gmail.com)（高山）

<出欠のいずれかに○をお付け下さい。あるいは該当しないものを削除して下さい>

▽大会（シンポジウム）に（出席する 欠席する）

▽懇親会に（出席する 欠席する）

①氏名：

②所属先：

\*学生の方は、大学名に加え学部・研究科名、学年も明記してください。

③連絡先（メールアドレス or 電話）：

